

～タイトル～

「教員基礎探究」第 9 回：まとめ②が実施されました。

～本文～

北海道教育大学では、高等学校段階から教員の仕事を理解し、教員になるための素養を高めるとともに意欲の高揚を図る「みらいの教員育成プログラム（前半：『教員基礎』、後半『教員基礎探究』）」を北海道教育委員会と連携して実施しています。釧路校でも、2023 年度より実施しております。

8 月 19 日（月）に、教育課題に関する授業や発表に向けた準備が実施されましたので、ご報告します。詳細は、以下の PDF 版記事をご覧ください。



【発表・交流】

第 9 回の教員基礎探究（8 月 19 日）は、「まとめ②」として、これまでの学習を振り返り、発表を行いました。発表テーマとしては、以下のテーマが出されていました。

- 「児童・生徒が『素直に発言する』ことができるようになる授業」
- 「子どもにとってわかりやすい授業の特徴」
- 「生徒との信頼関係の築き方」
- 「興味をもてる授業と少人数教育」
- 「教員の仕事と子どもとの関わり方」
- 「教育課題について」
- 「興味を引く授業展開と児童・生徒との関わり方」

それぞれが自分の課題意識にそって、これまでの経験や学習を振り返り、学んだことや気づいたことを発表していました（写真 1, 2）。学校での実習を中心にしながら、講義での学びも含め、課題についてわかったことを整理し、今後の抱負も話っていました。発表後の交流の中では、学習指導や生徒指導に関すること、他にもへき地・小規模教育や ICT の活用、子どもの心理や発達等、幅広く意見を交流しました。交流を通して、自分と共通の視点で観察した内容にうなずいたり、自分にはなかった視点に「なるほど」と納得したりする姿がみられました。

【ふりかえり】

昨年度の「教員基礎」、今年度の「教員基礎探究」を通したふりかえりを行いました。今回のプログラムに参加したことが、参加した生徒にとってどのような意味をもつのか、一度、振り返ってみてほしいと考えました。プログラム全体をふりかえり、特に印象に残っていること、その出来事を通して学びになったこと、これから取り組んでみたいこと等を考えていきました。多くの生徒が印象に残っていることとして、子どもたちとの交流や実際に授業をしたことを挙げていました。小学生との交流が楽しく、そこから学んだことも多かったように感じていたようでした。教員に向けて、という話をしていた生徒もいました。今回のプログラムが、教職についての理解を深め、その魅力に触れるきっかけになったことを聞き嬉しく思いました。

【修了証書授与・記念撮影】

活動の最後には、越川キャンパス長より、修了証書の授与がありました。一人一人に修了証書を渡し、最後に、一言挨拶がありました。「みらいの教員育成プログラム」の第一期生の生徒のみなさんが、今後、教職を目指し、北海道教育大学釧路校に入学してくることを期待しています。





写真3



写真4